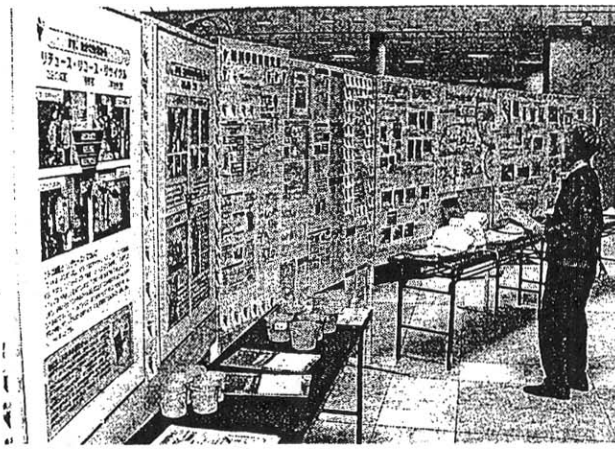


ば アースデイ行事10周年

つ く 32団体 観察会 など開催へ



アースデイに参加している団体の活動をパ
ネルで紹介した「アースデイ」のクレオ

つくば市などの環境団体をテーマに、二十二日のア
ースデイを中心に様々なイ
イベントを開催する。先行企
画として十七日から同市吾
妻のクレオで、参加各団体
だえようふる里つくば」

の活動を紹介する合同パネ
ル展が始まった。

アースデイはアメリカで
一九七〇年に始まり、毎年
四月二十二日に世界各地で
市民団体が地球環境を考え
るイベントを行っている。
「アースデイつくば」も九
年から活動している。

今年には三十二団体が参
加。自然と歴史文化が残る
筑波山を「ふる里つくば」
の象徴と位置づけ、二十二
日には「古代からの筑波山
・山道を歩こう」と「筑波
山の自然と遊ぼう」、翌二
十三日には「筑波山自然観
察会（フナ林と春植物の観
察）」と「唄歌（かがい）
の里」筑波山を知ろう」と
題したイベントが、同市臼
井の筑波ふれあいの里を会
場にするなどして行われ
る。

唄歌とは大和、奈良時代
に若い男女が山などに集つ

て歌を詠み交わし、求婚し
た習わし。筑波山でも行わ
れたとされ、「筑波山を知
ろう」では佐野賢治・筑波
大助教授が唄歌について講
話し、参加者同士で歌を詠
む。

合同パネル展は二十三日
まで。二十二、二十三日の
イベントの参加希望者は二
十日までにアースデイつく
ば事務局へファクス（☎0
298・51・58826）を。
問い合わせは☎0298・
55・1818。

目立った「意識」問う声

「ごみ問題」とことん討論

鹿 嶋



活発な意見が飛び交ったアースデイ鹿嶋・「ことんごみ
討論会」＝鹿嶋市の市中央公民館

アースデイ（地球の日）
の二十二日、鹿嶋市の市中

中央公民館で、ごみ問題につ
いてことん話し合おう
と、「ことんごみ討論
会」（アースデイ鹿嶋実行
委主催）が開かれた。

主婦など約十五人の市民
らが参加。「ごみ問題は、
小さなことでも一人ひとりの
行動が大事」「自分たちの
まちを自分たちがきれいに
するという意識をどう高
め、どう実行に移すかが重
要だ」など、意識の問題を
あげる意見が目立った。

同時に、子供のころから
の環境教育の必要性を指摘
する声も相次いだ。不法投
棄の目立つ粗大ごみ対策と
して、粗大ごみ処理の「無
料デーを設定しては」との
提言もあった。

さらに、「北浦の水質汚
染は深刻化している。水を
きれいにするための行動が
必要だ」など、水問題を取り
上げる意見も続いた。

討論会のほか、同公民館



大勢の人たちが訪れたフリーマーケット＝波崎町土合本町

子どもの古着に人気

「アースデー」はさきフリーマーケット

市民一人ひとりが環境問題を考える「アースデー」(四月二十二日)に合わせて、波崎町の町立矢田部公民館駐車場で八日、「アースデーはさき二〇〇〇」(「アースデーはさき実行委主催)が開かれ、地域住民が家庭で不用となった日用品などを売るフリーマーケットが大盛況だった。

アースデーは、一九七〇年に米国で地球環境を守る運動として始まったのが発端。県内でもこの日前後に多くのイベントが予定されており、水戸市では二十二日に旧県庁跡地でアースデーの催しがある。

フリーマーケットは今回

で十回目。当初は出店も七、八グループだったが、今回は過去最高の百近い出店数となり、主催者の横田文弘実行委員長も「会場も狭いほど、今度は会場を変えたいとも考えなければ」とうれしそうな表情を見せていた。

会場は品定めする住民でごった返していたが、会場周辺には鹿島臨海工業地帯の企業に勤める若い層の家族も多く、子どもの古着や家庭用品に人気が集まっていた。中にはチャイルドシートが数百円で売られていて家計にもやさしいイベントとなったようだ。

4 / 23 (日) 新しいばらき

地元のにぎわいを取り戻そう——と水戸市三の丸の旧県庁舎広場で二十二日、「大好きいばらき 同まつり」(主催・同まつり実行委員会)が開かれた。同まつりは、地域交流と地域の活性化を目的に、昨年の県庁舎移転後、初めて開催。地元自治会や県内の企業、ボテソニアグループなど合計百十の団体が参加し、昼、夜の二部構成で行われた。

開催セレモニーで、橋本昌県知事は「地元の人たちがよりよい地域にしていこうと自発的に活動できる場になってもらえば」とあいさつ。

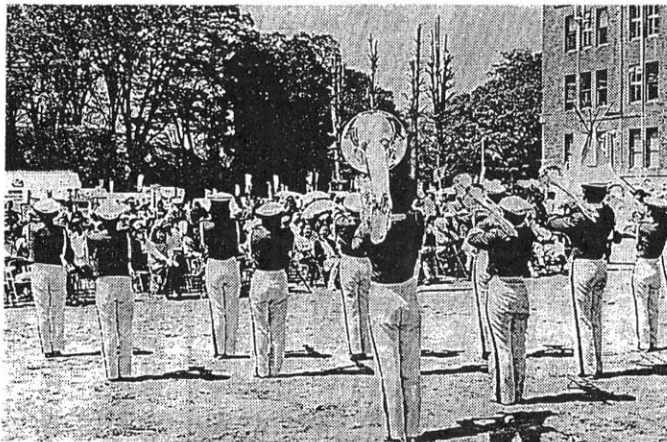
会場では模擬店のほか、県産品などのコーナーやバザーコーナー、電動カートや高齢者疑似体験のできるふれあいコーナーなどが設けられ、終日、家族連れなどでにぎわっていた。

また特設ステージでは、

にぎわい取り戻そう!

県庁舎跡地でふれあいまつり

水戸



訪れた人々を魅了した大洗高校のマーチングバンド

「世界アースデー」にあわせて、「アースデー2000」に水戸市が参加して、子供達に地球を語る会による環境劇の発表や、ステージ前では午前と午後の二回に分けて、県立大洗高校マーチングバンド「ブルーホークス」の演奏も行われ、訪れた人々を魅了させていた。

同まつり実行委員会では「今後も桜のライトアップの時期に合わせて年一回、開催していきたい」と話している。